

伝え合う楽しさを学ぼう

市では、文部科学省から教育課程特例校の認定を受け、英語コミュニケーション力を育むために小学1年生から英語教育を行っています。

外国人と接する機会を身近に

市では、全ての市立学校に外国人英語講師(ALT)を配置し、学級担任や英語の担当教員と共に授業を行っています。現在、48人のALTが在籍するほか、各講師への指導を行う主任ALTを教育委員会に2人配置しています。これにより人と人との触れ合いを大切にした英語教育を進めています。

児童・生徒は、ALTの話す英語を直接聞くことにより、自然な英語の発音やリズムに慣れ親しむことができます。また、外国人が身近にいることで、物おじせず英語で意思を伝えようとするようになります。

教育課程特例校としての市独自のカリキュラム

市では、文部科学省の認定を受け、市独自のカリキュラムで英語教育を行っています。

小学校では、歌やゲームのほか、買い物やレストランでの会話など、

実際の場面を想定したコミュニケーション活動を通して楽しく英語を学んだり、外国の文化に親しんだりしています。

中学校では、社会で使える英語コミュニケーション能力を養うために標準授業時間を拡大し、市独自の指導案に基づいた「発表・やりとり」を中心とした授業を行っています。

また、義務教育学校の下総みどり学園でも同様の英語教育が進められています。

多くの児童・生徒が「英語が楽しい」

市内の児童・生徒を対象に実施した平成29年度のアンケートによると、「あなたは英語の授業を楽しんでいますか」という質問に、小学生(義務教育学校は1〜6年生)の約93パーセント、中学生(義務教育学校は7〜9年生)の約81パーセントが「とても楽しんでる」または「どちらかという楽しんでる」と答えました。

また、ALTとの1対1の会話では、約90パーセントの児童・生徒が英語で会話できました。市では今後も、児童・生徒の「間違いを恐れずに、英語で自分の思いや考えを伝える姿勢」を育み、国際都市成田の未来を担うことのできる人材の育成を目指し、英語教育の歩みを進めていきます。
※くわしくは教育指導課 ☎20・1582へ。



ALTに英語でインタビュー(公津の杜小・6年)



イラストの動作を英語で表現(久住中・2年)



歌やゲームで楽しく学ぶ(公津の杜小・1年)